



宮川ふとし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

県北部のイノシシ捕獲昨年の2倍

生息域拡大防止に効果

銚子市・東庄町選挙区選出の宮川太(みやかわ ふとし)県議は、県政に活躍の場を移し、1期目ながら活発な議会活動を続けています。12月定例会議会では一般質問に登壇し、この中で宮川議員が、県北部地域でのイノシシの捕獲強化対策の成果を質問したところ、10月末までに前年同期の2倍の906頭を捕獲し、農作物被害の拡大と豚熱の感染拡大防止に一定の効果があったことが明らかにになりました。また、新型コロナウイルスによって経営に大きな影響を受けている銚子電鉄への支援策では、森田知事から「今月中には臨時支援金を給付できる見込み」との答弁を引き出しました。宮川県議の主な質疑をご報告します。

12月県議会一般質問に登壇

906頭を捕獲

宮川議員 イノシシによる県内の農作物被害は深刻な状況で、令和元年度の県内の被害金額は、約1億8千万円にも上っており、依然として高止まりの状況が続いています。

そこで伺います。県北部で実施しているイノシシの捕獲強化の取り組みについて、今年度の実施状況はどう

か。環境生活部長 県では、昨年11月から、豚熱の感染拡大を防止するため、県北部の銚子市、東庄町ほか4市を重点エリアに設定し、イノシシの捕獲を進めています。



コロナ対策の議場に立つ宮川県議

本年7月、国からイノシシ等の捕獲を強化するよう要請があったことから、県の捕獲事業におけるワナの設置日数を増やすとともに、市町にも協力を依頼したところ、10月末までの

当該エリア内での捕獲頭数が、前年同期の約2倍に当たる906頭となりました。

今後も、県北部でのイノシシの生息域の拡大を防止するとともに、農作物被害等の軽減や豚熱の感染拡大防止を図るため、市町と連

猿田町の拡幅要望

宮川議員 県道銚子旭線の銚子市猿田町地先では、一部区間が未改良であるため、道路の幅員が狭隘で、車両の通行に支障をきたしている状況であり、私

のところにも地元住民から拡幅整備を要望する声が届いています。

については、地域の課題を解消するためにも、県道銚子旭線の銚子市猿田町地先の道路拡幅について検討していただくよう要望します。

農業者支援センター

外国人材の受入れ制度

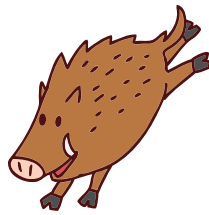
宮川議員 千葉県農業者総合支援センターでは、農業者等からの相談にどのように対応しているのか。

また、労働力の確保に関する相談も寄せられていることから、雇用管理研修会の開催や求人ウェブサイトの活用支援などを支援センターの重点事業に位置付けて実施しているところですか。

森田知事 農業者総合支援センターでは、県のほかJAグループ千葉や関係団体の職員が駐在し、農業者からのさまざまな相談に、ワンストップ体制で対応するなど支援を行なっています。

支援センターに寄せられる相談件数は年々増加し、今年度は10月末時点で217

携してイノシシ捕獲強化の取り組みを進めてまいります。**要望** 農作物被害の軽減が図られ、イノシシの生息域の拡大防止や豚熱対策にもつながるイノシシの捕獲強化に、今後もしっかりと取り組むよう要望します。



●県政や銚子市・東庄町のご相談、ご意見をお寄せください

宮川ふとし 県議事務所

〒288-0041 銚子市中央町18-11 TEL(0479)26-3915 FAX(0479)26-3916

みが、農業者等にもっと広く認知されるよう、県もしっかりとPRするよう要望します。

宮川議員 県では、外国人材の受け入れに関する制度の農業者への周知に、どのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 外国人材の適性や雇用管理を行うためには、外国人材の受け入れに関する制度など、雇用する農業者等に十分な理解を促すことが重要だと考えています。

このため、県では国等の関係機関と連携し、各分野の専門家を招き、外国人材の在留資格制度や、外国人の雇用に関する法制度などについて、県内各地で研修会を開催するなど取り組んでいます。

銚子電鉄へ臨時支援金を支給!

ちば環境再生基金活用で地域の美化活動を推進へ

アダプトプログラム

宮川議員 道路や河川、海岸などの公共施設は、県民生活や経済の発展など、大変重要な社会基盤であり、常に良好な状態を保つべきと考えます。そこで伺います。県管理の道路や河川、海岸におけるアダプトプログラムの現在の取り組み状況はどうか。

県土整備部長 「アダプトプログラム」制度は、県が管理する道路や河川・海岸において、市民団体等に除草や清掃などのボランティア活動に携わっていただき、そ

自発的な環境保全を

宮川議員 千葉の自然を未来に引き継いでいくため、県内各地で多数のボランティアやNPOなどが自発的に環境保全に取り組んでいます。多くの方々に、ちば環境再生基金を知っていただき、その活用が進めば、一層の環境美化につながっていくのではないのでしょうか。

そこで伺います。ちば環

の際、県が清掃道具の支給、貸し出しや、保険の加入費用の負担など活動支援を行なうものです。

この制度は、平成20年に創設しており、本年9月末時点では、道路56路線、45河川、4海岸において127団体、約4千人の方々に活動していただいています。

今後とも、更なる参加促進に向けて、県のホームページ等で当該制度の概要と合わせ、活動実績や状況を紹介するなど、市町村と連携して普及啓発を図ってまいります。

境再生基金による助成について、広く周知し、有効に活用してもらうべきと考えらるでしょうか。

環境生活部長 県では、一般財団法人千葉県環境財団に「ちば環境再生基金」を設置し、県民やNPO等による地域の美化活動をはじめ、里山保全活動や湖沼・河川の清掃、環境学習など、幅広い取り組みを支援して



自席から発言を求める宮川県議

います。

財団では、基金による助成事業について、ホームページやリーフレットにより広報するとともに、毎年度、説明会を開催しており、令和元年度は67件の取り組みに対し、約1600万円の助成を行ったところです。

現在、県では、助成事業をホームページで広報していますが、より多くの県民や

NPO等に活用してもらえらるよう、今後は県民がよりなどの広報手段の積極的な活用や、地域イベント等の機会を通じて二層の周知に努めてまいります。

要望 より多くの方々に両制度を知ってもらい、参加していただけるよう、引き続き制度の紹介などに取り組みをいただくとよう要望します。

新型コロナウイルスの影響で運輸収入が45%減少

宮川議員 新型コロナウイルス感染症により大きな

影響を受けている銚子電鉄への支援について、県はどの

ように考えているのか。

森田知事 銚子電鉄は、感染症の影響により、4月から8月までの期間の対前年比で、運輸収入は約45%の減、また、鉄道事業を支える食品事業収入も約20%の減少と、大変厳しい経営状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、県では、公共交通事業者が今後も車両や駅舎の感染症予防対策に取り組みながら運行を継続できるよう、臨時支援金事業を9月補正予算で創設したところであり、今月中には、会社に支援金を給付できる見込みです。

要望 県による支援について、前向きな答弁をいただき感謝します。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くか、まだ不透明な状況です。県には、会社の経営状況をつぶさに確認し、いざという時には、さらなる支援も検討してもらいたい。

市内県立高の在り方

宮川議員 今後の銚子市の県立高校の在り方について、地域の意見を取り入れて検討すべきと思うがどうか。

澤川教育長 県教育委員会では、県立高校の改革に当たり、「県立学校改革推進プラン」及び4次にわたる実施プログラムの策定において、広く地域から意見を伺ってきました。

今後とも、県立高校の改革では、地域の意見をいただきながら、魅力あふれる県立高校づくりを進めてまいります。

要望 市立高校も含めた地域内の公立高校の在り方について、地域の意見を聞き、子供たちの教育に支障がないよう、しっかりと連携を図ることを要望します。

保育士研修の充実

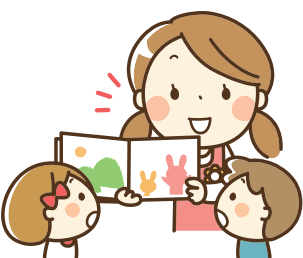
宮川議員 保育人材の資質向上について伺います。今年度は、新型コロナウイルス

感染症により、研修にも影響があったと聞いています。保育士を対象とした研修の

実施状況はどうか。

健康福祉部長 県では保育士がそれぞれの職務内容に応じた専門性の向上を図るため、保育所長や主任保育士等の階層別研修及び障害児保育などの分野別保育、さらに保育全般に係る最新情報の話題を取り扱った研修等を実施しているところです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン研修を一部導入したものの、当初の予定よりも研修の開催回数や一会場当たりの定員を縮小せざるを得ませんでした。しかしながら、受講者が研修で得た知識や技能を持ち帰り、園内研修などで共有することにより、保育所全体の質の向上につながっているものと考えています。



来年度については、より多くの方に受講していただくよう、研修方法を工夫してまいります。

要望 新型コロナウイルス感染症の収束も、いまだ終わりが見えない状況で、これを機にオンライン研修の拡充など、時間と場所を工夫した新たな研修方法について検討していただくよう要望します。